※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	3	年次	2
使用教科書	「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」（筑摩書房）						
副教材等	「新訂版　正しく読み・解くための力をつける古典　ステップ 2.5」（数研出版） 「読んで見て聞いて覚える 重要古文単語 315 四訂版」（桐原書店） 「読解をたいせつにする 体系古典文法 九訂版」（数研出版） 「体系漢文　三訂版」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・必ず丁寧な予習を行ってから授業に臨みましょう。なお、予習ノートをはじめとする家庭学習の成果物は定期的に提出してもらいます。日々少しずつで構わないので、計画的に取り組みましょう。
・授業は「教え合い」を目標とします。新出の知識がたくさん登場して大変かもしれませんが、最終的には他者に教えることを意識し、ノートの取り方を工夫するなど、授業には主体的に参加してください。
・古典は音読も重要です。少しでも古典世界に親しむためにも、授業内外を問わず、音読しましょう。

2　学習の到達目標

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことで、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）文法や語彙を理解し、文章読解に役立てられるようにする。
（２）作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、内容の解釈を深めるとともに、内容や解釈を自分の知見と結び付けることで、人間、社会、自然などに対する考えを広げたり深めたりする。
（３）計画的で継続的な学習を通して古典や言語そのものに親しみを持つことで、我が国の言語文化の担い手としての自覚を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典文法や漢文の句法、その他文章読解に必要な語彙を理解し、文章読解に役立てている。	作品の成立した背景や他作品との関係を踏まえながら古典を読み、内容の解釈を深められている。 また、内容や解釈を自分の知見と結び付けることで、人間、社会、自然などに対する考えを広げたり深めたりしようとできている。	我が国の言語文化の担い手としての自覚を養うために、計画的・継続的な学習を通して、古典や言語に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古典を通して歴史や言語の成立を知る ［教材］ （古文） 『大和物語』「姥捨」 『大鏡』「花山院の出家」 （漢文） 『呂氏春秋』「知音」	a：敬語と助動詞、或いは助字に留意して文意を理解できる。 b[読]：古典的文章から歴史的出来事の経緯や故事成語の成立を読み解くことができる。 c：積極的に日本や言語の歴史について理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
	古典を通して人と社会を考える ［教材］ （古文） 『徒然草』「世に語り伝ふること」 『蜻蛉日記』「嘆きつつ」 （漢文） 『荘子』「曳尾於塗中」	a：接続詞等に留意して、論理的に文意を理解できる。 b[読]：古典的文章から当時の人々の他者や社会に対する思考を読み解くことができる。 c：積極的に異文化の考えを理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
二学期	古典に現れた人の心情を読み取る ［教材］ （古文） 『源氏物語』「廃院の怪」 （漢文） 「石豪吏」 『荀子』「性悪」	a：感情語等に留意して、論理的に他者の心情を理解できる。 b[読]：古典的文章から適切に他者の心情を読み解くことができる。 c：積極的に異文化に属する人々の心情を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
	歴史的傑作を介して古典世界の人々の生活や考え方を知る ［教材］ （古文） 『更級日記』「源氏の五十余巻」 『源氏物語』「若紫の君」 （漢文） 『史記』「鴻門之会」	a：省略された主語等を意識しながら、的確に文意を理解できる。 b[読]：巧みな表現や論理的説明文を読むことを通じて、古典世界への理解を深めることができる。 c：難解な文章であっても積極的に読解に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
三学期	古典世界の人々の感じ方と現代の人々の感じ方を比較する ［教材］ （古文） 『枕草子』「文ことばなめき人こそ」 『平家物語』「忠度の都落ち」 （漢文） 『陶淵明集』「桃花源記」	a：既習事項を基に、論理的に文意や心情を理解できる。 b[読]：古典世界の人々が心動かされたものを知り、現代との異同を考慮することで、古典世界と現代とのつながりに気付くことができる。 c：作品読解を通じて感じた意見を積極的に言葉にしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　105　）時間